

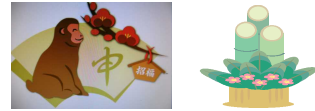
# 研究所だより

第356号  
2015年12月24日  
発行：土佐清水市教育研究所  
TEL 82-3015

“年の始めの例(ためし)とて 終(おわり)なき世のめでたさを  
松竹たてて門(かど)ごとに 祝(いおう)今日(きょう)こそ楽しけれ”



「一月一日」唱歌



～冬来たりなば、春遠からじ～

今年もいよいよ押し詰まりました。暦の上では冬至（1年で一番昼が短く、夜が長くなる）。冬の間中あたると、寒さはこれからが厳しくなり、本格的な冬の到来となります。体調管理には十分留意しましょう。

## ☆第5回教研推進委員会（委員長：岩井先生・清水小）

10日（木）に第5回教研推進委員会が開催されました。協議内容を報告します。

1. 半日教研の総括について
  - ・各部会とも授業研、講師を招聘しての事例研修等研究を深めることができた。
  - ・日程については、原則として予定された日に授業研等を実施する。
  - ・部会の会場については、原則各部長が直接会場へ連絡し確保する。減免承認が得られる会場は、確保できたら学校教育課（指導主事）に申請書を提出し減免申請の手配をしてもらう。
2. 平成28年度の市教研に関わる日程等について

## 平成28年度一日教研について

期日：8月5日（金）午前－講演会 午後－部会別研修会

会場：市文化会館くろしおホール

講師：菊池省三 先生（教育実践研究家）

＝プロフィール＝

○人物

愛媛県出身

小学校教師として「ほめ言葉のシャワー」「成長ノート」「白い黒板」など現代の学校現場に即した独自の実践によりコミュニケーション力あふれる教育をめざしてきた。教員同士の学びの場「菊池道場」を主宰し、その支部は全国40カ所に広がり大きなうねりとなっている。2015年3月小学校教師を退職、33年間の教職人生の中で培った教育実践をより広くより積極的に伝えながら、21世紀の教育をめざし執筆、講演活動中。

○主な著書

『日本初！小学生が作ったコミュニケーション大辞典＜復刻版＞』

『学級崩壊立て直し請負人』『菊池先生のことばシャワーの奇跡』

『菊池省三流奇跡の学級づくり』など多数

○マスコミ関係

2012年7月16日NHK人気番組【プロフェッショナル仕事の流儀】で取り上げられたことをきっかけに全国へ講演。テレビ東京「たけしのニッポンのミカタ」出演。日本テレビ「NEWS ZERO」などでも紹介される。

最近では、5日（土）放送の「世界一受けたい授業」に出演していました。

- (1) 組織教研： 4月20日（水）15：30～16：45
- (2) 一日教研： 8月 5日（金）講演会・部会別研修会
- (3) 半日教研：11月 9日（水）授業研（13：30～16：45）他

\*組織、一日、半日の各教研は、悉皆研修です。

\*平成28年度の役員体制については、組織再編を視野に入れて継続審議となりました。次回第6回の教研推進委員会で最終協議、決定することになっています。

## ☆第2回学力向上検討委員会（委員長：文野校長・下川口小）

15日（火）に第2回学力向上検討委員会が開催されました。全国学力・学習状況調査結果の正答率と児童・生徒並びに学校質問紙を基に課題についてと高知県学力定着状況調査に向けての取り組みと自校採点について協議・意見交換をしました。

子どもの学力については、学校が責任を持つべきことで、極めて教員の指導力にかかっていることを私たちは自覚しています。教師の生命線は、授業です。その授業こそ我々が日々大切にしなければならない営みです。各校では、子ども達にとって楽しく、わかる、できる・使える力がつく授業へと授業改善にも取り組んでいます。特に、授業のスタンダード化、話す・聞く能力、書く能力・考える力を鍛えるために、課題解決型授業（ねらいの確認→自力解決→学び合い・とも学び→適応問題）、進行カードに沿った授業展開や学習リーダーを活用したグループ学習の導入、ノート指導等にも力を入れています。

家庭学習については、学校を離れて帰宅後の生活の中でのことなので、家庭環境や考え方によっても違いがあります。習慣は、毎日の積み重ねによって定着するものです。学校と家庭が力を合わせて家庭での学習習慣を身につけさせ、子どもの学習に対して興味や関心を広げていくことが大切となります。特に、家庭学習の習慣づけに必要なのは、ノートと鉛筆、家庭の協力（親の愛情）です。

◎分析結果

1. [児童・生徒質問紙]

- ・家庭学習時間は、3時間以上では全国平均よりも低い、1時間以上2時間未満では全国平均より高い。（3時間以上－本市・6.7%、全国・11.1%）
- ・家で宿題をするについては、小中全国平均よりも低い。  
「している、どちらかといえばしている」  
（本市・小：93.4% 全国・96.8%、中：83.9% 全国・89.3%）
- ・予習、復習については、小学校は全国平均よりも高いが、中学校は低い。  
「あまりしてない。してない。」の数値は、全国平均よりも高い。
- ・読書時間は、全国平均よりも少ない。（30～60分以内－本市・16.7%、全国・20.1%）  
授業に集中して取り組んでいる児童・生徒は、ある一定の学力は身につけている。しかし、あくまでも授業の範囲であり、家庭学習も宿題で終わっている傾向が見られ、応用・発展までには至っていない。時間をかけて家庭学習に取り組んでいるがその効果が現れていないということになります。「やらされる学習」から「やる学習」へと意欲を起ささせる取組を考えてみる必要があります。

家庭学習について校内研で取り上げ、一人ひとりの生活習慣を確立させた上で、学習の仕方、内容の工夫（授業とリンクした内容）、ノート指導（ノート作りスタンダードの構築）など、全校体制で取り組んでみてはいかがでしょうか。

2. [学校質問紙]

- ・「前年度に、学校図書館を活用した授業を計画的に行いましたか」については、（本市・0.0%、全国・16.3%）と全国平均よりも低い。
- ・「自校の分析結果について学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか」

については、全国平均よりも低い。

- ・習熟度別や少人数指導についても全国平均よりも低い。本市は、複式校など小規模の学校が多い関係で実施が難しいと思われる。
- ・「学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修」は、全国とほぼ同レベルで実施されているが、「模擬授業や事例研究などの実践的な研修や授業研を伴う校内研修の実施回数」は、全国平均よりもかなり低い。
- ・学校全体の言語活動の実施状況や課題について、「全教職員の間で話し合ったり、検討したりする」ことは全国平均よりも高いが、「校外の研修や研究会の成果を教育活動に積極的に反映させていますか」「学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか」「知識・技能の活用に重点を置いた指導計画を作成していますか」「言語活動について～学校全体として取り組んでいますか」については、全国平均よりも低い。

各校ではすでに2学期の教育実践の総括を行い、3学期に向けての取組が確認されていることと思いますが、結果の分析後に示した課題に対する具体的な改善策について全校研できちんと振り返る（チェックシートの活用等）ことで、次に繋がり（点・個⇒線・組織）、深まっていくことになるのではないのでしょうか。

### 3. 高知県学力定着状況調査に向けての取組について

各校の2学期の取組を活かすためにも振り返りを基に、冬季休業中や連休中にも児童・生徒が達成感が持て、成果が上がるような内容の課題を出すことも必要ではないでしょうか。また、採点についての研修会は、下記の日程で開催します。

○日時：1月18日（月）15：30～ 清水中学校 （教育委員会主催）

### ～センタークリスマス～色！～

過日、適応指導教室に通室している子どもたちが、リース作りやクリスマスケーキ作りにチャレンジしました。リースは、一人ひとりの個性と思いが込められたすばらしい作品となりました。ケーキについても、プロ顔負けの本格的なデコレーションケーキに仕上がりました。完成後は、職員もおいしいケーキをごちそうになりました。



〔手作りケーキ完成！〕



〔手作りリース完成！〕

## ☆今年の漢字は「安」

2015年の世相を漢字ひと文字で表す「今年の漢字」が「安」と決まり、京都市の清水寺で発表されました。

安倍内閣による平和安全法制の成立が注目を集めたこと、韓国人による靖国神社爆発テロ事件や旭化成によるマンション傾斜問題に対する不安、イスラム国による日本人拘束事件やパリ同時多発テロ事件を受けて世界に安らぎと平安を願う思い、TPP合意に伴う食の安全への関心の高まり、お笑い芸人・とにかく明るい安村のギャグ「安心してください、穿いていますよ。」の流行などが理由に挙げられました。

この「今年の漢字」は、12月12日の「漢字の日」に一年を振り返り、漢字一字に込められた奥深い意義を認識する機会を持つことを目的に1995年に始まり、今年で21回目になるそうです。本当に安心して生活できる世の中であってほしいですね。



〔15日京都・清水寺で揮毫する森清範貫主（住職）〕

皆様おそろいにて、良き新年をお迎えください  
2016年がお互いの飛躍の年で  
ありますようにお祈りいたします

